

作成日：2009年10月 1日
改定日：2014年 9月29日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : エフコレジンE-600
会社名 : カンエイ産業株式会社
住所 : 大阪府八尾市竹濑2丁目136番地
担当部門 : 営業部
電話番号 : 06-6708-7517
FAX番号 : 06-6708-0008
整理番号 :

2. 危険有害性の要約

《GHS分類》

物理的・化学的危険性

引火性液体 : 区分2

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外

急性毒性(経皮) : 区分外

急性毒性(吸入:蒸気) : 区分外

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外

眼損傷性/眼刺激性 : 区分2A-2B

皮膚感作性 : 分類できない

呼吸器感作性 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 区分外

発ガン性 : 区分外

生殖毒性 : 区分2

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)

: 区分1(中枢神経系、腎臓、全身毒性)、
区分3(気道刺激性)

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)

: 区分2(血管、肝臓、脾臓)

吸引性呼吸器有害性

: 区分外

環境に対する有害性

水生毒性(急性) : 区分外

水生毒性(慢性) : 区分外

《ラベル要素》

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性の高い液体および蒸気

強い眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

中枢神経系、腎臓、全身毒性の障害

呼吸器への刺激のおそれ

長期又は反復ばく露による血管、肝臓、脾臓の障害のおそれ

《注意書き》

安全対策 : 火災、爆発の危険又は蒸気の中毒その他の健康障害を起こす恐れがあるので、
取扱いには下記の注意事項を守って下さい。
火気のある所での取扱いは避けて下さい。
取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。

取扱い中には、できるだけ皮膚に触れないようにし、有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護メガネ、保護手袋、前掛等を着用して下さい。
 容器から出し入れするときは、こぼれないようにして下さい。
 容器からこぼれた場合は、布で拭き取るか、砂等で散布した後、処理して下さい。
 取扱い後には、手洗い及びうがいを十分行なって下さい。
 アレルギー対質の人は、製品の取扱いを避けて下さい。
 本来の用途以外に使用しないで下さい。

- 救急処置 : 目に入った場合には、多量の水で洗い、速やかに医師の診察を受けて下さい。
 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
 誤って飲み込んだ場合には、速やかに医師の診察を受けて下さい。
 体、衣類などに付着した場合は、速やかに水又は石鹼水にて洗浄するとともに汚染された衣類を脱いで交換して下さい。
 その後、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
 火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。
- 保管 : 一定の場所を定めて換気のよい冷暗所に貯蔵し、直射日光、凍結条件下での貯蔵は避けて下さい。
- 廃棄 : 廃棄容器等製品の付着物は、産業廃棄物処理の許可を有する業者に委託して処理下さい。

3. 組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名 : アクリル酸エステル共重合体のイソプロピルアルコール水溶液
 成分及び含有量

成分	含有量(%)	化審法	安衛法	CAS No.
アクリル酸エステル共重合体	40	登録有	登録有	登録有
イソプロピルアルコール(IPA)	36	2-207	同左	67-63-0
水	24	—	—	—

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所へ移動し、安息・保温に努める。
 : 呼吸がとまっている場合は、衣類を緩め、気道を確保した上で人工呼吸を行う。
 : 直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染した衣類、靴等を脱ぎ、付着部を多量の水及び石鹼水で洗浄する。
 : 異常が残る場合は医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : こすらずに直ちに流水で15分以上洗浄し、眼科医の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 飲み込んだ時は、多量の水又は食塩水を飲ませて吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、泡沫、炭酸ガス、乾燥砂
 使ってはならない消火剤 : 棒状の水
- 特定の消火方法 : 作業は風上より行い、作業時は保護具を着用する。
 : 火元への燃焼源の供給を断ち、消火剤を使用して作業を行う。
 : また、延焼の恐れがない様に水スプレーで周辺の建物を冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(呼吸用保護具、化学防護服、手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際は、適切な保護具を着用し、漏出した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入したりしないようにする。風上から作業をし、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項 : 漏出場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入り禁止する。
 : 漏出した製品が、下水、排水溝、低地に流出しないように注意する。
 封じ込め及び浄化の方法 : 漏出源を遮断し、漏れを止める。

: 少量の場合は乾燥砂、土、おかくず、ウエスなどに吸収させて、
 密閉できる空容器に回収する。
 大量の場合は盛土で囲って、流出を防止してから処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

《取扱い》

技術的対策 : 皮膚、粘膜にふれたり、眼に入らない様、適切な保護具を着用する。
 静電気対策を行う。作業着、作業靴は導電性のものを用いる。
 容器を転倒、落下、引きずるまたは衝撃を加える等の乱暴な取扱いをしない。
 注意事項 : 取扱い場所には、密閉された装置、または局所排気装置を設けて換気を良くし、
 液の漏洩及び、飛散を防止する。

《保管》

適切な保管条件 : 容器を密閉して、冷暗所に保管する。(保管温度5～35℃)
 安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

《保護具》

呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク又は、送気マスク
 手の保護具 : 不浸透性保護手袋
 眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、保護長靴

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 密閉された装置、または局所排気装置を設ける。
 管理濃度／許容濃度

成分	管理濃度	許容濃度(2006 年)	
		日本産業衛生学会	ACGIH
IPA	200ppm	400ppm	TWA 200ppm

9. 物理的及び化学的性質

《物理的状態》

外観(形状、色) : 淡黄色透明液体
 不揮発分 : 約40.0%
 粘度 : 1.100mPa・s/25℃
 pH : 9.0
 比重 : <1(25℃)
 臭い : 芳香臭

《物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲》

沸点 : データなし (IPA) 83℃
 融点 : データなし (IPA) -90℃
 引火点 : 21℃
 発火点 : データなし (IPA) 460℃
 爆発限界 : データなし 上限 (IPA) 12.0%
 下限 (IPA) 2.0%
 蒸気圧 : データなし (IPA) 4.4kPa(20℃)
 蒸気密度 : データなし (IPA) 2.1
 揮発性 : 有り。
 溶解性 : 水に可溶。

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の取扱い条件では安定。
 危険有害反応可能性 : 強酸化剤等と混合した時、反応する可能性あり。
 危険有害な分解生成物 : 燃焼などにより一酸化炭素、二酸化炭素等の有毒ガスを生じる。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)

製品	データなし
IPA	経口ラットLD50=3437 mg/kg

急性毒性(経皮)

製品	データなし
IPA	経皮ウサギLD50=4059 mg/kg

急性毒性(吸入:蒸気)

製品	データなし
IPA	吸入ラットLC50(4時間蒸気暴露)=29620 ppm

皮膚腐食性・刺激性

製品	データなし
IPA	ウサギ皮膚刺激性試験では、刺激性なしまたは軽度の刺激性の報告があるが、ヒトでのボランティアおよびアルコール中毒患者の治療のため皮膚適用した試験では刺激性を示さないとの報告あり。

眼損傷性/眼刺激性

製品	データなし
IPA	ウサギでの眼刺激性試験では、軽度から重度の刺激性の報告があるとの記述があるが、重篤な損傷性は記載されていない。

呼吸器感受性/皮膚感受性

製品	データなし
IPA	呼吸器:データなし 皮膚:モルモットでのビューラー法による皮膚感受性試験では陰性であった。一方、皮膚炎発症例で2-propanolのパッチテスト陽性例には、低分子の1級または2級アルコール、プロピレンオキシドにも陽性を示しており、2-プロパノールが原因物質か否か明確でない。

生殖細胞変異原性

製品	データなし
IPA	in vivo でのマウス骨髄細胞を用いた小核試験で陰性。

発ガン性

製品	データなし
IPA	ACGIHではA4(ヒト発ガン性に分類できない物質)に分類されている。

生殖毒性

製品	データなし
IPA	ラットでの飲水投与による2世代繁殖試験では、繁殖能および出生子の発育に影響なかった。一方、ラットでの発育毒性・催奇形性試験では、催奇形性はなかったが、親動物に体重増加の低下、麻酔作用等の毒性を示した用量で、妊娠率の低下、吸収胚の増加、胎児死亡の増加等の生殖毒性が認められたとの記述。

特定標的神経器/全身毒性(単回暴露)

製品	データなし
IPA	ラットでの吸入暴露による活動性の低下があるとの記述、およびヒトでの経口摂取による急性中毒では消化管への刺激性、血圧、体温等の低下、中枢神経症状、腎障害が認められており、標的臓器は中枢神経系、腎臓および全身毒性与判断される。また、ヒトで鼻、喉への刺激性が認められており、気道刺激性があると判断される。

特定標的神経器/全身毒性(反復暴露)

製品	データなし
IPA	ラットでの86日間または4ヵ月間吸入暴露試験で、血管、肝臓、脾臓に影響が認められたとの記述から、標的臓器は血管、肝臓、脾臓であると判断される。

吸引性呼吸器有害性

製品	データなし
IPA	ラットでの気管内投与により、24時間以内に心肺停止による死亡が認められており、かつ、動粘性率は概略1.6前後であることから、吸引性呼吸器有害性があると判断される。

12. 環境影響情報

《生態毒性》

魚毒性	: データなし	(IPA)ヒメダカLC50/96H=>100mg/l
残留性／分解性	: データなし	(IPA)微生物による生分解性が良好と判断される物質。
生態蓄積性	: データなし	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託処理する。 自社で処分する時は、おかくず、ウエスなどに吸着させ、アフターバーナー及びスクラバーを具備した焼却炉で焼却する。
汚染容器及び包装	: 容器は洗浄してリサイクルするか、法規に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

《国際規制》

国連分類	: クラス3(引火性液体類)
国連番号	: 1866
容器等級	: II

《国内規制》

陸上輸送	: 消防法等に定められる運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められる運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められる運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

: 運搬に関しては容器に洩れのない事を確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
その他、取扱い及び保管上の注意の項の記載による。

15. 適用法令

消防法	: 危険物 第四類第二石油類 危険等級Ⅲ 水溶性
毒劇法	: 非該当
労働安全衛生法表示物質	
表示物質	: イソプロピルアルコール 36%含有
通知対象物質	: イソプロピルアルコール 36%含有
PRTR法第1種指定化学物質	
	: 非該当
第2種指定化学物質	: 非該当
船舶安全法	: 引火性液体類
航空法	: 引火性液体

16. その他の情報

《参考文献》

GHS分類結果データベース(製品評価技術基盤機構HP)
安全衛生情報センターGHSモデルMSDS情報(中央労働災害防止協会HP)
ラベル・製品安全データシート作成実務必携GHS 対応国内版(化学工業日報社)
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ(化学工業日報社)
化学品法令集(化学工業日報社)
14705の化学商品(化学工業日報社)

* 安全データシート(SDS)は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さや完全性を保証するものではありません。新しい知見、試験等により改訂されることが

あります。また、注意事項等は通常のご扱いを対象にしたものであり、特殊なご扱いの場合は十分な安全対策を実施の上ご使用下さい。すべての化学物質には未知の有害性が有り得るため、ご扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において安全な使用条件を設定下さるようお願い致します。